
レアリア学習からみた外国語学習語彙の研究

堤 正典 / 小林 潔

この共同研究では、これまでのロシア語のレアリア（文化的背景などの知識）の教育についての研究する過程において、学習語彙の見直しをすることの必要性が浮かび上がり、ロシア語の学習語彙の再検討を行っている。

ロシア教育科学省認定ロシア語試験（ТРКИ）の学習語彙を基盤とするが、それは主としてロシアへの留学生が必要とする語彙を中心としているので、日本人がロシア語を使用するその他の様々な場面を想定して、ТРКИ学習語彙に含まれない必要な語彙の洗い出しを行い、学習語彙リストの改訂を目標としている。

また、ТРКИ学習語彙リストには多義語が含まれ、日本語との対応が複雑な語も少なくはない。例えば、ロシア語の *жизнь*（生命、人生、生活…）は英語では *life*、フランス語では *vie* というように一語で対応するが、日本語に対してはそうではない。学習語彙の多義性に注目し、日本語を母語とする学習者（日本人学習者）のために日本語との

対照分析を行っている。

学習語彙リストの見直しにおいては、まずロシアにおけるビジネスの場面、あるいは来日したロシア人のアテンドの場面などを想定して、必要語彙（必要表現）を検討している（なお、その際にはいわゆる高度な専門用語は除外する）。また、ロシアの外国人労働者に求められる言語能力や文化・歴史・制度の知識が、ロシア政府による「外国人労働者向けロシア語・ロシア史・ロシア方試験」で示されている。日本人学習者にとってもレアリア知識として知っていることが望ましいものである。これに含まれる語彙も学習語彙とする必要があると考える。

多義語については、より基本的な語から多義性についての検討・分析を行っている。その際、まずは英語の多義語分析を参考とすることができるので、英語との多義性の対応がある語から分析を行っている。